

1 節 履修とカリキュラムの考え方

I 履修とは

履修とは、「大学で決められた科目を修めること」を意味します。もう少し具体的にいうと、大学は、学科ごとの課程（卒業要件）のなかで学びたい科目を履修登録し、皆さん自身で学習計画を立てます。その科目に合格すると単位を得る（単位修得）ことができます。これを「履修」というのです。

大学は、高校までのような決められた科目を受け身的に学習することと違って、自由、かつ自主的な学び方となるのです。したがって、入学された皆さんは、当然自発的、自主的に学ぶ意思を持っているということが前提となります。

万一、勉学等に対する意欲が不確かな場合には、自主的に勉学（さまざまな分野への参加）をしない「別な自由」も保障されていることとなります。しかし、この場合の結果については、自らが責任をとらなければなりません。

II カリキュラムとは

1 カリキュラムの構造

それでは、どのような科目を履修しなければならないのでしょうか。同じ大学に入学しても、（編）入学年次や学科が異なると、卒業までに履修する科目が大きく違ってきます。それは、どの科目をどの順番で履修していくと、最も効果的にそれぞれの専門知識や技術を身に付けることが可能であるかということを先生方が話し合っ、て、学科毎に「カリキュラム」（教育課程）が作成され、それにしたがって履修していくからです。

ここでは、通信教育部に共通するカリキュラムの構造を示しておきます。本冊子内に「開設授業科目一覧」（p. 49～52, 64～67）として示されていますが、本学通信教育部の授業科目は、共通基礎科目と専門科目に大別されます。

【共通基礎科目】

共通基礎科目は、広い意味での「教養」を涵養する「知」の枠組みであり、総合的・多角的な見方を身につけるとともに、専門の基礎を学ぶことを目的としています。ただし、2・3年次編入学者は履修しなくても卒業要件単位を満たすことはできます。

【専門科目】

専門科目の履修をする場合に、「専門必修科目」、「専門選択必修科目」、「専門選択科目」などの区分け（用語）が登場します。

専門科目は学科毎に定められた個別のカリキュラムによって運営されています。将来の方向性によって上級生になればなるほど細分化された領域を学ぶこととなりますが、将来どのような方向性に進むにしてもその学科の学生として誰もが必ず基本として身に付けておいてほしい科目があります。これが「必修科目」です。

たとえば、「社会福祉原論（職業指導を含む）」は、社会福祉学科の「必修科目」に位置づけられています。このような「必修科目」は、当然ながら必ず履修し合格すること（単位を修得すること）が求められています。たとえ、他の科目の成績が良くても、必修科目が1科目でも不合格であれば卒業できなくなってしまいます。

「選択科目」は、将来どのような進路を考えるのかによって、多くの科目から自由に履修したい科目を選択し、履修登録していくことのできる科目です。

また、専門科目は、教育方法から「講義科目」「演習科目」「実習・実験科目」に区分されています。これらの授業科目を受講する際、カリキュラムの構造を視野に入れ、それぞれの授業がどのように配置されているか、そして科目間の関係はどのように位置づけられているのかなどを意識することも重要です。この点に関しては、本冊子中の「履修系統図」（p.53～55, 71）を参照してみてください。なお、各種資格の取得を目指す場合には、指定された科目を順序よく履修しなければなりません。この点に関しては、3章で確認してください。

2 単 位

小学校から高校までは「学年制」のなかで学んできた方が多いと思います。ところが、大学では「単位制」を採用しています。つまり、選択履修した科目を受講し、「合格」の認定を受けると、その科目の学習時間を基に算出された数の「単位」が授与されます。なお、1単位あたりの学習時間は、法令上は45時間となっています。

3 卒業単位と資格単位

卒業単位とは、大学をはじめとして、学校を卒業する要件とされる科目の単位のことです。また、卒業要件単位（卒業するために必要な単位）とは、法令では、大学の4年制の課程で124単位以上と定められています。したがって、皆さんは、卒業するためにはそれ以上の単位を修得しなければなりません。その際、所属している学科のカリキュラム表（＝開設授業科目一覧）に記載されている科目を履修する場合は、卒業単位として認定されますが、それ以外の科目を受講する場合は卒業単位としてではなく、資格単位として単位認定されることになり、124単位以上には含まれないこととなります。

たとえば、社会福祉学科所属の学生が、「心理アセスメント」を履修したとします。福祉心理学科では、この科目は開設授業科目一覧に記載されていますので、卒業単位の一つにカウントされますが、社会福祉学科では、開設授業科目一覧に載っていません。したがって、「心理アセスメント」は、社会福祉学科所属の学生にとっては資格単位となり、124単位の卒業単位には含まれない科目（単位）となるのです。卒業単位と資格単位の違いについては注意が必要です。

4 各学年の履修登録単位の上限

本学通信教育部では、1年間で履修登録できる単位の上限を50単位以内（授業料の範囲内で履修登録できる単位数は1年間で40単位まで）と定めています。

以上のように、卒業に必要な単位数を修得するためには、1年1年の積み重ねが必要であり、そのための大事なステップが履修登録です。履修登録をしていない科目はスクーリングを受講したりレポートを提出したりすることもできず、当然評価も与えられません。不安であれば、本書を熟読したり、ガイダンス等をしっかり受けて理解し、必要に応じて職員からのアドバイスを受け、誤りのないような履修登録を心がけてください。